

サイロ

①学校名

[すらん]

小学校
中学校

②学 年

[2] 年

③名前 (ふりがなも書く)

[きのしたこしよな 木下バ花]

◎詩を書いたら、次の方法で、サイロの会へ届けてください。

①担任の先生におねがいする。

②サイロの会に郵送する。

(〒080-00012

帯広市西2条南9丁目6
サイロの会事務局 行)

六花亭店内

③六花亭のお店の人にわたす。
(どの六花亭のお店でもOKです。)



【詩を書く時には】

①五感を生かす。

- ・目で見たこと
- ・耳で聞いたこと
- ・香りや匂い
- ・味や舌ざわり
- ・手や肌で感じたこと

②一番思い出に残っている場面に注目する。

③短い言葉で、リズムよく書く。

④「まるで〜のように」「〜みたいなの〜」など、たとえる表現を使う。

(例) ・落ち葉が、雨のようにふっつてくる

・なべみたいなおおふる

⑤気持ちや、ちがう言葉で表現する。

(例) ・なみだがどんどんおぶれてきた
(悲しい気持ちを表わす)
・ぼくは夢中になつて友達と遊んだ
(楽しい気持ちを表わす)

⑥題名を工夫する。
(最後につけるとよい)

☆書き終わったら…

・一度読み返して、文字のまちがいなどがないか、たしかめよう。
・友だちに読んでもらって、よいところなどをきいてみよう。

題

「雨の日の車」

雨の日に

車にのって

ほかの車を見ると

雨が

たきのように

車の上から

たみがれおちていた。

車は、ぼいぼいはたらいて

あせをかいているように見えに。

いつも休まず

はたらいている車は

すいすいかな。